



① 日本国特許庁

公開特許公報

特 許 願 (1) 後記号なし

昭和 48 年 5 月 7 日

特許庁長官殿

1. 発明の名称 回転ドラム式洗濯機

2. 発明者

住 所 モリグチ シンケイハンホンドリチロノ 守口市京阪本通2丁目18番地

サンヨーデンキ 三洋電機株式会社内

氏 名 フシ 西 フシ 好 フシ 輝

3. 特許出願人

住 所 守口市京阪本通2丁目18番地

名 称 (188) 三洋電機株式会社

代表者 井 植 薫

連絡先：電話（東京）855-1111 特許部駐在 安富

4. 添付書類の目録

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面 | 1 通 |
| (3) 願 書 副 本 | 1 通 |

①特開昭 50 - 1566

④公開日 昭50.(1975) 1. 9

②特願昭 48 - 51796

②出願日 昭48.(1973) 5. 9

審査請求 未請求 (全3頁)

庁内整理番号

⑤日本分類

6687 34

92(5)B422

明 細 書

1. 発明の名称 回転ドラム式洗濯機

2. 特許請求の範囲

外周胴部に洗濯物投入口を設けた回転ドラムと、前記洗濯物投入口を施蓋する蓋体と、前記ドラムの洗濯物投入口縁に設けられ、ドラム側壁より外方へ突出したロックピンと、前記ロックピンの先端に係合するとき前記ドラムを固定するため前記ドラムの外周の水受槽に設けたストッパーと、前記蓋体の先端に設けられ、前記ロックピンに係合する係合鉤金と、前記ロックピンに形成した括部に嵌入してロックピンの突出を保持する係合板バネとよりなり、前記蓋体の鉤金には前記ロックピンの挿通する孔部と、前記孔部に至る前記ロックピンの括部とは同巾の切欠を形成してなることを特徴とする回転ドラム式洗濯機。

3. 発明の詳細な説明

本発明は回転ドラム式洗濯機特に外周胴部に洗濯物投入口を設けた回転ドラムを有する回転ドラム式洗濯機に関する。

従来のこの種洗濯機の洗濯物投入口の開閉蓋を施錠する機構は、外胴の外方に掛金などが突出し、ドラムと外槽間の間隙を多く必要とし、且ドアを閉じて施錠する操作が複雑で取扱いに困難を極めるものであつた。

本発明は、上記せる形式の洗濯機において、蓋体の施錠及び回転ドラムの開蓋時の固定を容易に操作し、確実な施錠を行い安全性にすぐれた回転ドラム式洗濯機を提供するものである。

以下実施例に基づき図について説明すれば、(1)は機枠にして、前記機枠(1)内には外周胴(3)に洗濯物投入口(4)を有する回転ドラム(5)が設けられ、この洗濯物投入口(4)には開閉自在な蓋体(6)が設けられている。

而して前記回転ドラム(5)の前記洗濯物投入口(4)の口縁にドラムの側壁(6)に設けた透孔(7)を貫通して設けたロックピン(8)が突出せしめられている。このロックピン(8)はドラムの側壁(6)より突出する部分に括部(9)を有している。又このロックピン(8)の括部(9)に嵌入せしめられるとき、ロックピンが

ドラム内に引き込まれるのを阻止する係合板パネ10がドラム側壁6に取付けられている。

又前記ロックピン8の先端が係合せしめられる凹所又は透孔10を有するストッパー12が、前記ドラムの外方に設けた水受槽13の側壁に設けられている。更に前記せる蓋体14の前記ロックピン8と係合するための腕金15には、前記ロックピン8が挿通する孔部16が設けられ、且前記孔部16に至る切欠17が設けられ、この切欠17はロックピン8の括部9とほぼ同巾に形成されている。18は前記ロックピン8をドラム内の方へ引込むよう附勢したスプリングを示し19は前記ロックピン8に横設した摘子である。

次に本発明の作用を説明すれば、第2図及び第3図は回転ドラム5の停止時に外槽13に固定した状態を示し、ロックピン8は摘子19をしてストッパー12の透孔10に挿入せしめられる。このときロックピン8の括部9に係合板パネ10が嵌り込んで、ロックピン8がスプリング18にてドラム内に引込まれるのを阻止し、ストッパー12との係合状態を

特開 昭50-1566 (2)
保持している。この場合は蓋体14は開蓋状態にあり、回転ドラム5内の洗濯物の出入れがされる。

今蓋体14を閉めることによつて蓋体14の腕金15が前記ロックピン8に当接せしめられるとロックピン8の括部9に嵌っている係合板パネ10に腕金15の先端が当接し、係合板パネ10のロックピン8との係合を解く、その状態でロックピン8がスプリング18の力でドラム内に引込まれると、ロックピン8が腕金15の透孔16に嵌り込み、同時にストッパー12との係合を外すことになる。なおロックピン8は先端がドラム側壁の透孔17より多少太い形状にして完全にドラム内には引込まないようになっている。

開蓋するときには、摘子19によつてロックピン8をドラムより突出させると蓋体14はその腕金15が括部9より外れて開蓋せしめられ、ストッパー12の透孔10に嵌入されたとき括部9に係合板パネ10が嵌合してロックピン8はストッパー12に係合せしめられる。ロックピン8の他端18は蓋体の腕金15の透孔16と係脱せしめられる。

従つて本発明の構成によれば、上述せる構造にすることによつて蓋体の開閉が片手で容易に操作することが出来、ドラムと水受槽間の固定及びドラムと蓋体との施設が交互に且瞬時にして確実に操作出来、蓋体を開閉するのに両手を用いたり、回転ドラムを水受槽と固定する際あるいは固定を解く際、回転ドラムが回転し、ドラムと水受槽間に手を挟んで負傷することもなく、蓋体の閉め忘れや半開き状態で洗濯物を運転し、ドラムと水受槽間に洗濯物を落し損傷する懸念もなく、更に簡単な構造で安価に提供出来るなど工業上の利益大なるものである。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の回転ドラム式洗濯機を示し、第1図は断面図、第2図及び第3図は開蓋状態を示す回転ドラムの要部平面図及び側面図、第4図は第2図のA-A断面図である。又第5図は回転ドラムの閉蓋状態の要部側面図、第6図は蓋体の腕金の他方の側面図である。

1…機枠、3…外周胴、4…洗濯物投入口、5

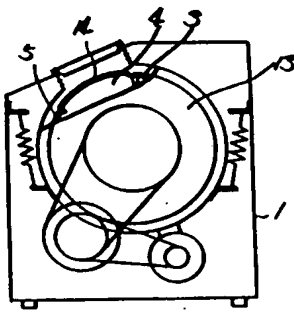
…回転ドラム、6…側壁、7…透孔、8…ロックピン、9…括部、10…係合板パネ、11…透孔、12…ストッパー、13…水受槽、14…蓋体、15…腕金、16…透孔、17…切欠、18…スプリング、19…摘子。

特 許 出 願 人

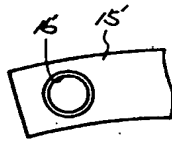
三 洋 電 機 株 式 会 社

代 表 者 井 植 薫

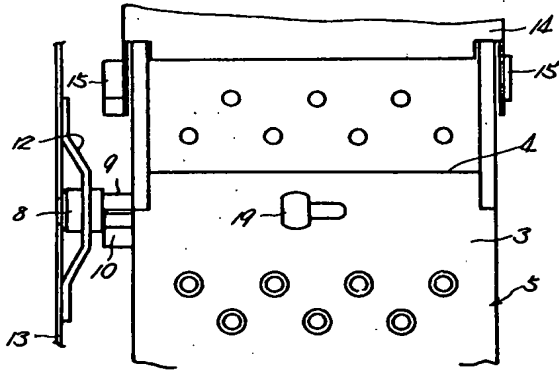
第1圖



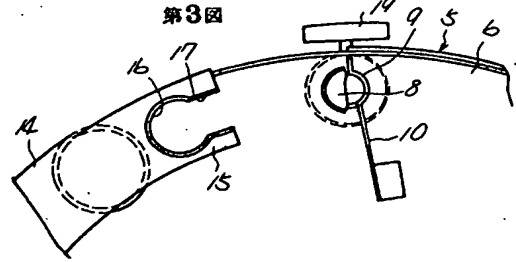
第6圖



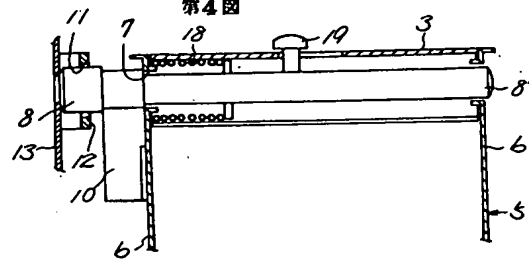
第2圖



第3圖



第4圖



第5圖

